

議会だより

ふそふ

第251号

1月臨時会

3月定例会

目

次

3月定例会の概要 2・3P
各常任委員会の審査 4・5P
議員別審議結果一覧表 6P

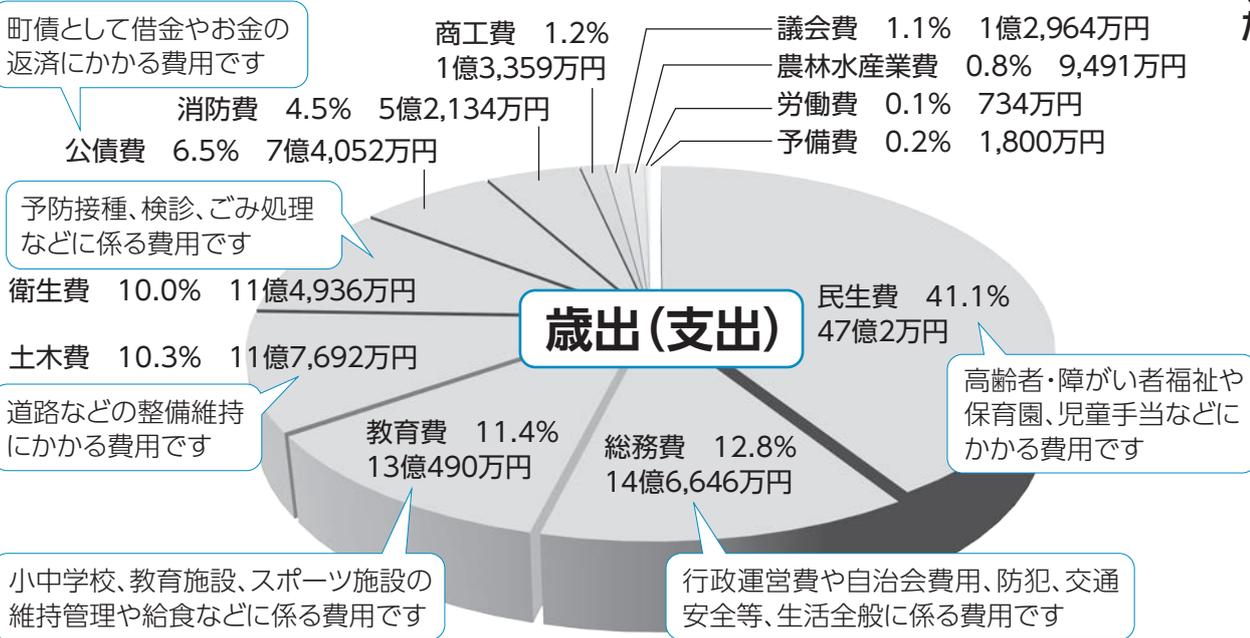
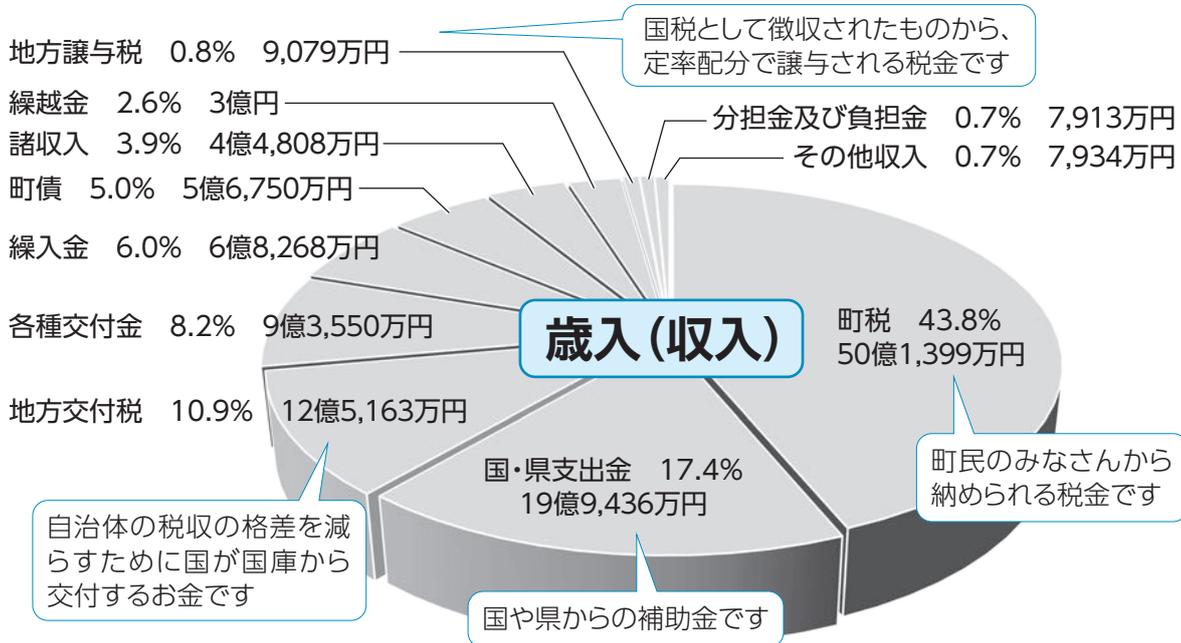
一般質問 7~17P
お知らせ 18P

発行/扶桑町議会 編集/議会だより編集特別委員会

子ども子育て支援の充実予算

歳入・歳出それぞれ 114億4,300万円

令和4年3月定例会は3月1日から25日まで開催されました。
 今回の定例会では一般会計予算・特別会計予算を始め、補正予算、
 条例の制定・一部改正など24案件の審議を行いました。



(単位:千円)

会計区分		歳入(収入)金額	歳出(支出)金額	差引金額	摘要欄	
予算の総規模	一般会計	11,443,000	11,443,000	0		
	特別会計	土地取得	3,338	3,338	0	
		国民健康保険	2,866,130	2,866,130	0	
		介護保険	2,568,836	2,568,836	0	
		後期高齢者医療	576,973	576,973	0	
	下水道事業会計	収益的収入・支出	444,733	412,144	-	
		資本的収入・支出	640,194	766,835	△ 126,641	補填財源
予算の合計		18,543,204	18,637,256	△ 126,641		

《今年度には、このような事業があります》

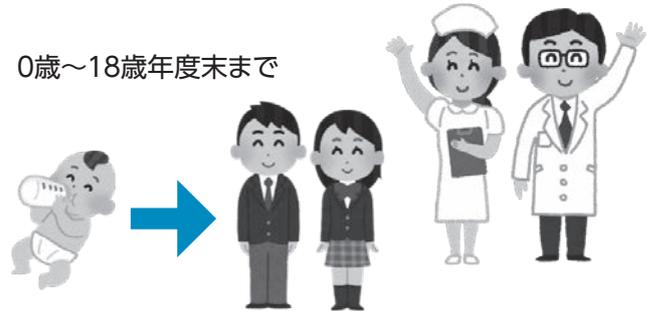
(万円未満切り捨て)



◆デマンド交通の実証運行の実施 2,807万円

主に高齢者の移動手段、外出支援を目的に
新たな地域公共交通の運行を開始する

0歳～18歳年度末まで



◆子ども医療費拡充 442万円

現在15歳までの子ども医療費を、入・通院ともに
18歳の年度末までに拡大する



◆町民プール解体・ 駐車場整備工事 4,800万円

町民プールを解体し駐車場にする



◆産後健診の拡充・新生児 聴力検査等の実施 307万円

産後健診を1回から2回に拡大・
乳児への聴力検査、妊産婦の歯
科健診を実施する



◆保育園祝日保育 ・土曜日延長 216万円

高雄南保育園で祝日保育開始
高雄西、柏森保育園で土曜保育
を集約し時間延長する



◆中小企業の従業員確保・ 定着を推進 200万円

テレワーク、POSレジの導入等
を実施する事業所等に対し、経
費の一部を補助する



◆猫の去勢・避妊手術費 補助 50万円

飼い猫、野良猫の去勢・避妊、耳
カット処置費の一部を補助する



◆特殊詐欺防止用電話機器 購入費補助 15万円

電話による詐欺被害を防止する
ため、特殊詐欺防止用電話機器
購入費を補助する

こんなこと聞きました



総務建設常任委員会

令和4年度一般会計予算

高雄東部地区まちづくり

問 都市計画総務一般事務費(臨時)の委託料で、計画協議修正等業務と市街化編入図書等作成業務があるがどのような内容か。

答 高雄東部の過年度に行った計画協議について、今回規模を縮小するため再計画をするものと、計画協議の進捗に合わせ、市街化編入作業の素案を作成するものである。

空家対策

問 「空家の有効活用による住民活動団体事業拠点改修費補助金」の要綱で、補助を受けた後10年間の事業継続を条件としているのは、ポランティアの活動実態に即した制度運用にすべきで、考え直す必要があるのでは。

答 解消に向け、内部で検討に入る。

歳入歳出

問 歳出における総務費増額の要因は。

答 主なものとしては、役場庁舎建設基金積立金、公共交通の運行開始に伴う経費、マイナンバーカードと住基システムを結びつける構築費、町制施行70周年記念事業関連費などが要因と捉えている。



(築55年を経過した役場庁舎)

猫の去勢避妊手術費補助金

問 猫の去勢避妊手術費補助金制度の制定背景と実施目的は。

答 猫のトラブルとして町への苦情が多く寄せられ、当初は飼い主のいない野良猫苦情に対しボランティア団体の活動支援に対するものと考えていたが、飼い猫の野外での繁殖問題もあることから双方を目的としている。

産地パワーアップ事業費補助金

問 産地パワーアップ事業費補助金の具体的な内容は。

答 令和4年中に完成予定のJA愛知北が建設している扶桑野菜出荷センターの施設内において冷蔵庫を完備し、品質が保持されることで、販売需要に応じた出荷につなげる。

ブロック塀等撤去費補助金

問 通学路におけるブロック塀撤去費補助金活用への執行状況は。

答 本年度に、通学路沿道におけるブロック塀の63件に対し、補助金活用のチラシ等をポスティングし、補助

の活用を促している。

その他の議案

★扶桑町消防団条例の一部を改正する条例について
災害時における出動報酬の引き上げにより団員の処遇改善を図ることを目的とする。

★令和4年度扶桑町下水道事業会計予算

現在は下水道の整備普及を進めており、投資の部分の負担が大きくなっている。令和9年からは事業量を減らし、全体事業量の見直し、使用料の改定などを検討のうえ計画を立て、令和35年度には市街化区域内の下水道整備を終える予定である。

総務建設常任委員会への付託案件として、土地取得特別会計等を含む、議案13件を審査しました。



各常任委員会の審査内容

福祉文教常任委員会

令和4年度一般会計予算

新型コロナウイルススワクチン接種事業

問 新型コロナウイルススワクチン接種事業費の集団接種会場運営業務委託料と報酬金と紹介手数料の内容は。

答 報酬費については、新型コロナウイルススワクチン接種謝金のこと、医師に支払うものである。会場運営業務委託料は近畿日本ツーリストに一式委託し、会場の運営をするものである。また、紹介手数料は接種をしていただく医師の紹介料で医師の報酬の35%を見込んでいる。



(扶桑町総合福祉センター内
集団接種会場)

戸籍住民基本台帳事務費

問 戸籍システムEモード対応委託料の内容は。

答 マイクロソフト社のIEを利用してはいるが、令和4年6月サポート停止により、画面や印刷が崩れてしまふ。それを防ぐための改修をするものである。

機械器具費

問 機械器具費のワイヤレスマイクは、電波法改正に伴い買い替えるということか、新たに購入するものか。

答 旧規格のワイヤレスマイクが電波法の改正で使えなくなり、買い替えを要望するものである。

校舎大規模改修事業

問 山名小学校体育館大規模改修工事の設計委託料に雨漏り工事が含まれるか。

答 雨樋の改修工事は令和2年度に実施され、今のところ被害は報告されていない。今回の設計では令和5年度の大規模改修工事の中に陸屋根部分の防水工事を予定している。

保健体育各種大会事業

問 コロナが収束したら、伝統ある体育祭を復活する用意があるか。

答 従来の体育祭は地域が一体となれる貴重なイベントである。ただ、コロナが収束しても安全に開催できるか、また体育祭だけでなく地域の運営も厳しいとの声もあり、地域コミュニティの低下の問題もあるので、コロナを契機により良いものに変えていくきっかけにしたい。

文化会館光熱水費

問 文化会館の電気料金は、会館の運用に有利な基本割・従量割の2本立てにしたと思うが、現在の契約は。

答 現在は、電気を安価に購入するため、2市3町広域行政研究会電力部会が定める事業者との契約が締結されている。

その他の主な事業内容

・柏森放課後児童クラブ館において土曜日の保育を開始
・高雄南保育園において祝日保育の開始、土曜保育を高雄西保育園と柏森保育園に集約し保育時間の延長を実

施

・子ども医療費助成を令和4年9月診療分から18歳の年度末までに入院・通院ともに拡大

・(仮称)多機能児童館の事業開始に向けた管理、運営準備

・犯罪被害者等への経済的支援として、見舞金を支給

その他の議案

★扶桑町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

未就学児の均等割額の見直しに伴い、未就学児がいる世帯に対して一律に保険税の軽減を行うものである。

★令和3年度一般会計補正予算(第14号)

・在宅福祉サービス事業
・放課後児童クラブ事業
・健康増進事業
ほか

福祉文教常任委員会への付託案件として、国民健康保険特別会計予算を含む、議案11件を審査しました

○賛否が分かれた案件

議案等	会派・議員	議決結果	桑政クラブ											日本共産党	公明党	扶桑新政クラブ	無所属
			伊藤 猛	大河原光雄	兼松伸行	小室輝義	近藤 裕	澤田憲宏	杉浦敏男	千田勝文	丹羽友樹	間宮幹男	和田佳活				

◆議案

議案番号	議案名	議決結果	伊藤 猛	大河原光雄	兼松伸行	小室輝義	近藤 裕	澤田憲宏	杉浦敏男	千田勝文	丹羽友樹	間宮幹男	和田佳活	高木義道	荒木孝三	佐藤智恵子	千田利明	矢嶋恵美
第2号	令和4年度扶桑町一般会計予算	可決	○	○	○	○※	○	○	○	○	○	○	-	○※	●	○	○	○
第4号	令和4年度扶桑町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	●※	●	○※	○	○
第5号	令和4年度扶桑町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○※	○	○	-	●※	●	○	○	○

賛否状況 ○：賛成 ●：反対 議長は採決に加わらない。※：討論者

令和3年度 議長交際費と政務活動費 報告

議長交際費執行状況

費目	件数	金額(円)
甲慰	8	90,104
賛助	3	15,000
手土産	1	6,048
合計	12	111,152

政務活動費収支報告

- ・交付対象 会派又は議員の職にある者
- ・交付金額 1人当たり年額6万円
- ・使途基準 (政務活動費を充てることができる経費の範囲)

研究研修費(研修会等負担金、講師謝礼等)
調査旅費(先進地調査経費)
資料作成費(印刷製本費、翻訳料等)
資料購入費(書籍、資料等の購入費)
広報費(広報紙、報告書印刷費等)
会議費(会議費、器材借上げ料等)



各会派等の収支報告内容

	収入(円)	支出(円)				返還金(円)
		研究研修費	広報費	資料購入費	支出合計	
桑政クラブ(11名)	660,000	0	0	180,290	180,290	479,710
日本共産党(2名)	120,000	0	0	0	0	120,000
公明党(1名)	60,000	6,200	0	41,964	48,164	11,836
扶桑新政クラブ(1名)	60,000	0	0	15,780	15,780	44,220
無所属(1名)	60,000	0	18,894	47,844	66,738	0

※政務活動費収支報告書・議長交際費の詳細は町ホームページでも公開しています。

1月臨時会開催

令和4年1月25日(火)に臨時会を開催し、補正予算1件の審議を行いました。

一般会計補正予算

一般会計補正予算(第12号)は、歳入歳出それぞれ3億6490万円を追加し総額122億2591万8千円となっております。内容は次のとおりです。

住民税非課税世帯等への臨時特別給付金支給事業

3億6490万円

住民税非課税世帯等に対して臨時特別給付金を支給するものです。

*寄付行為の禁止
議員は、お祭りの時などへの寄付行為やお酒などの差し入れを禁止されております。
有権者が求めてもいたしません。
ご理解をお願いいたします。





ここが
聞きたい

町政を問う

これを
言いたい

一般質問は、議員が自身の考えや町民の皆様の声をもとに町政全般について質問することです。

令和4年3月8日9日、10議員が登壇し、一般質問を行いました。

ページ	質問者	件名
8	小室 輝義	令和4年度予算について 他2件
9	間宮 幹男	自主財源の確保に向けて
10	近藤 裕	姉妹都市提携について 他1件
11	杉浦 敏男	第8期高齢者保健福祉総合計画について
12	佐藤 智恵子	コロナウイルス感染症対策について 他1件
13	大河原 光雄	歳入における各種交付金について
14	千田 勝文	所有者不明土地について 他2件
15	兼松 伸行	古文書・文化財の保存と学芸員の利活用について
16	荒木 孝三	県道羽黒線の安全対策について 他2件
17	高木 義道	学校教育について 他2件

木曽川水辺自然環境保全のための整備や土地入手を



桑政クラブ
小室輝義 議員

【答】 入手の必要性を検討していきたい



(木曽川堤外地東部未利用地の風景)

問 新愛岐大橋や新ごみ処理施設建設と木曽川水辺地域が大きく変化するなか、堤外地活用の具体的なビジョンが必要では。

答 産業建設部長 具体的なビジョンについては、都市計画マスタープランにおいて、一部は守口大根など優良農用地として確保し、全体として木曽川周辺は自然環境や公園・緑地活用し、保全をしていく方向性とはなっているが、現在は具体的な計画は無く、整備等の検討については国への要望を含め、今後進めていくことになる。

堤外地東部未利用地の整備や入手の必要性があると考えているかどうか。

答 産業建設部長 現在、堤外地の多くは木曽川扶桑緑地公園として国から占用許可を受けて利用している。公園以外は民地となっており、利用としては畑としての耕作地と未利用地が混在している。質問の東部未利用地の具体的な整備計画は持っていないが、「木曽川上流域公園整備促進期成同盟会」を通して国に対して要望活動を行っている。また「木曽川中流域かわまちづくり協議会」が令和2年11月に発足されたので、引

き続き国に対して当該地区の整備等について要望したい。また町としても用地入手の必要性を検討していきたい。

新型コロナウイルス感染症防止への対応

問 ワクチン接種の加速化、抗原(抗体)検査やPCR検査等への補助はどうか。

答 健康福祉部参事 新型コロナウイルス接種の追加接種については、1月22日より集団接種会場を開設して接種を始め、個別接種は一部の医療機関で昨年12月から接種を始めた。これにより扶桑町では愛知県平均接種率に比べ少し早く接種が進んでいるのが現状である。検査への補助については、令和4年度から、さくら総合病院で、感染に不安のある方を対象に、年1回に限り助成により5千円の負担で検査が受けられるようにする。

【問】 学校での感染拡大防

止への対応は。
答 教育次長 今までの様マスク着用、換気、手洗い、消毒の徹底のほか、保護者へ日々の健康観察、検温の協力依頼をした。さらに教職員の職域接種も実施した。業務が逼迫している保健所に代わり、濃厚接触者の特定に関わり、文科省の臨時休業の基準に基づき判断する体制を整えている。

問 5〜11歳児接種の保護者への理解や予約についての情報提供は。

答 健康福祉部参事 現在対象児への接種の準備を進めている。個別接種は3月11日より「つくしこどもクリニック」で、集団接種は12日より総合福祉センターで実施予定である。国のホームページや県の専門窓口が開設され相談に応じており、町ホームページからもアクセスできる。また、保健センターにおいても相談を受け付けている。



桑政クラブ
間宮幹男 議員

自主財源確保に向けての考えは

答 各種取組により自主財源確保を目指す

税収は回復の兆し

問 第5次扶桑町総合計画「実施計画」の地方税増額の根拠は。

答 総務部長 今後3年間の税収見込みは、当町の近年の伸び率や地方財政計画を参考に算出している。個人住民税においては微増ながら増加傾向にあることや所得割についても新型コロナウイルスからの回復の兆しがみられることから増加傾向を見込み、法人住民税については新型コロナウイルスからの回復の兆しを見込んでいます。今後において増加予測をしている。その他固定資産税・都市計画税などを合わせ、町税全体で2%程度の増加を見込んでいます。

経常収支比率に影響

問 多機能児童館建設による経常収支への影響は。

答 総務部長 多機能児童館建設の財源は国庫補助金、公共施設建設基金

繰入、起債借入となっている。将来への借金を極力減らすべく充当可能額までの借入は行わないが、令和7年度以降、毎年800万円程度の償還が見込まれる。

問 地域公共交通事業による経常収支への影響は。

答 総務部長 デマンド型公共交通運行開始にあたり、令和4年度予算に車両購入費と負担金を計上している。令和5年度以降の運行経費として年間3300万円程度を見込んでいますが、国庫補助

金を活用し一般財源の持ち出しを抑制するよう財源の確保に努める。

自主財源確保の取組

問 雇用や人口増加に影響をもたらす高雄東部地区の企業誘致の現状は。

答 総務部長 国道41号の6車線化の整備が進み、企業による個別開発の相談を複数頂いている。今後は、エリアの企業誘致を進めるに当たり、受け皿づくりを進めることが重要と考える。

問 地方創生の推進に必

要なふるさと納税拡大は。

答 総務部長 3月1日現在、89件、465万円の寄附をいただいている。当町の返礼品は10事業者23品目を指定している。ふるさと納税による財源を確保していくには、返礼品の新規開拓や拡充をしていく必要があると考える。

問 自治体の新たな広告事業など拡大は。

答 総務部長 広告収入による財源確保は「広報ふそう」への広告掲載、ホームページによるバナー広告、封筒への広告印刷、広告入り回覧板など行っている。来年度運行開始予定の地域公共交通においても、事業者様からの協賛をいただき住宅地停留所の看板に表示したり、車両にラッピングしたりすることを予定している。今後、広告媒体となりうるスペース等の活用についての財源確保に向け研究していく。



(デマンド交通豊明市チョイソコ)



桑政クラブ
近藤 裕 議員

姉妹都市提携の考えは

答 実現に向けて研究していきたい

問 現在多くの市町村で国外、国内との姉妹都市提携が締結されている。姉妹都市提携をどのように考えているか。

答 総務部長 歴史的事件や人物とのつながりなどを根拠として文化、産業、教育などの発展のため、お互いが協力していくことを目的とし、一般住民も交えて相互交流し、親善を深めることと考える。一番のメリットとしては、地域や環境の異なる自治体と交流することにより、異文化コミュニケーションを行えることであり、特に子どもたちの成長にも良い影響があると思う。

問 過去には他市町との防災関係の連携や国外の学校との教育交流があったようだが、現在、姉妹都市提携への考えはないか。

答 総務部長 他の自治体との相互交流は地域や環境の異なる文化に触れることができるため、一

般住民だけでなく行政にとっても、本町の発展に非常に有意義なものであると考えるが、費用面や社会情勢に左右されるなどのデメリットもある。行政だけでなく住民や各種団体、学校等において交流の機運が醸成され、相手の自治体にもその機運が高まり、地域課題の解決にもつながるような目的を持った交流ができるよう、提携先があるかも含め、実現に向けて研究していきたい。

公共基準点

問 公共基準点とは、地球上での位置や高さが正確に測定された点をい、地図作成や各種測量の基準となるものである。公共基準点を使用して測量しておけば、災害時等の境界復旧にも迅速に対応することができる。町内にある公共基準点の現存数は。

答 産業建設部長 公共基準点は等級により区分

され、町内には1級基準点が26点、3級基準点が126点設置している。また、その設置間隔は、1級基準点は800m、3級基準点では、約200～300mで整備されている。

問 今後の配点増設の考えは。

答 産業建設部長 基準点を設置してから約30年が経過し、建物が建ち並び見通せなくなるなど、基準点を取り巻く状況は

日々変化しており、遠方の基準点を使用し測量を行うことで時間と労力を必要とする場合もある。基準点は公共測量や一般測量、また道路・水道・下水道などの設計・工事・維持管理にも大変重要なものである。今後は利便性や使用頻度に配慮した配置を愛知県公共嘱托登記士地家屋調査士協会などと調査研究していきたい。



(世界的に整合性を持つ測量基準「公共基準点」)



桑政クラブ
杉浦敏男 議員

地域包括支援センターの強化は

業務負担増加に対応可能な体制の強化が必要

問 地域包括支援センターの現状と構成員を含めた体制の強化は。

答 健康福祉部参事 地域住民の保健、福祉、医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に実施している。職員体制は、主任介護支援専門員1名、看護師1名、保健師2名、社会福祉士3名、介護支援専門員1名の計8名で運営している。高齢化に伴い業務量増加が見込まれ、職員の能力向上や人員体制の見直しによる対応可能な体制の強化が必要と考える。

介護予防、日常生活支援 総合事業

問 地域包括ケアシステムにおける事業の目的と内容は。

答 健康福祉部参事 高齢者が住み慣れた地域で生涯を安心して暮らしていけるよう、保健、医療、福祉などの社会資源や人材などを活用することで

支援が必要な高齢者を支えること。サービスでは運動機能維持の「元気アップ教室」、認知症予防の「認知機能低下予防教室」、引きこもり予防を目的とした「宅老事業」などの一般介護予防事業がある。

認知症支援への取り組み

問 認知症初期集中支援チームの現状は。

答 健康福祉部参事 医療や福祉など複数の専門職から構成され、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、自立生活のサポートを行うもので、地域包括支援センターに事業を委託している。認知症サポート医、地域包括支援センターの職員及び町職員の参加による会議を開催して対象の方の支援方法の検討、情報交換を行っている。

問 認知症地域支援推進員の取組と課題は。

答 健康福祉部参事 医療機関、介護サービス事

業所や地域の支援機関などを連携させるコーディネートターの役割を担い、認知症の人やその家族に必要なサービス提供の調整を行っている。今後、高齢化の進行に対応するために推進員の確保などの体制の充実が求められる。

問 家族介護者に対する支援の充実は。

答 健康福祉部参事 高齢者等が徘徊した場合、早急に居場所を把握する

ための位置情報探索システム端末機の貸し出し事業。認知症で徘徊症状の見られる方への早期発見、保護及び引き渡しが行われるよう見守りシール交付事業。また、さらに認知症カフェや介護者交流会の開催支援を地域包括支援センターに委託している。今後も家族介護者の負担を和らげ、生活と介護の両立が図れるよう支援の充実に努めていく。



(扶桑町総合福祉センター内)



公明党
佐藤智恵子 議員

男性トイレにゴミ箱の設置を

答 施設管理担当と協力し設置検討する

答 健康福祉部参事 利用者の方の「モラル」の啓発も考慮しながら、保健センターを含め施設管理担当と協力し、男性トイレにおけるゴミ箱設置について検討する。

問 前立腺がんや膀胱がんの術後は、尿漏れパットが欠かせず、使用している方のうち7割の方が捨てるのに困った経験がある。男性トイレにもゴミ箱を設置できないか。

答 健康福祉部参事 必要性は認識している。どのようなケアがどの程度必要か明らかでないこともあり、近隣市町の動向、対象者の把握、医療機関等への保険適用範囲の確認、実態をどのように調査していくかを含め、今後の対応を研究していく。

問 がん患者に寄り添う支援 外観の変化に苦痛を感じ、経済的負担を軽減するピアランスケアの助成について本町の考えは。

女性のがん検診受診率向上の取り組み

問 本町の子宮頸がん、乳がん検診の受診率は。

答 健康福祉部参事 子宮頸がんは4・7%、乳がんは4・6%と、いずれも県平均を下回っている。

問 受診率向上の取り組み状況と今後は。

答 健康福祉部参事 子宮頸がんでは20歳の方、乳がんでは40歳の方を対象に無料クーポンを発送し、受診の機会を増やすきっかけとなるよう働きかけ



ている。年間10回の集団検診、うち2回は土曜日。また、町内及び近隣市町の医療機関でも受診可能である。今後も、ひまわりあんしん情報メール等で、継続して啓発していく。

コロナ禍の休校、休園等に伴う対策

問 急な休校、休園等に伴う給食材料の廃棄、キャンセルが問題になっている、本町の現状と今後の対応は。

答 教育次長 食材の発注量の変更を行い、一部キャンセルできない食材も廃棄することなく使用できた。今後も食品ロスにならないよう有効活用を検討していく。

答 健康福祉部長 保育園では前月に発注しているが、納入業者に可能な範囲でキャンセルを依頼し、できなかった食材は後日利用し、できるだけ廃棄が出ないように努めている。今後も同様の対応をしていく。

問 教職員のメンタルケアは。

答 教育長 学校管理職には、個々の職員の状況をよく観察し、在校時間の把握、体や心の健康面のケアが必要と感じた場合は、早めに受診・相談を徹底していく。



桑政クラブ

大河原光雄 議員

国・県の交付金・補助金の活用強化は

【答】 より質の高いサービス提供には必要不可欠

問 「町への財政援助金」として、返済不要の交付金や補助金制度を上手に活用して、「まち・ひと・しごと」の活性化に取り組むことなど、各種交付金・補助金制度の活用強化と推進の考えを町長に伺う。

答 町長 令和4年度においては、税収に回復の兆しが見られるとはいえず、老朽化した公共施設やインフラ整備、新型コロナウイルス感染症対策など多くの課題がある。自主財源が豊かとは言えない本町において、財源確保のためには交付金や補助

金制度を活用することは必要不可欠である。国や県からの情報にアンテナを高くして、より質の高いサービスを継続的に提供できるように積極的に活用していく。

問 移住、定住など今後の事業推進から、新たに申請する計画の交付金はあるか。

答 総務部長 令和4年度以降において、地域公共交通の運行経費に対して、新たに「地方創生推進交付金」を活用していく。また新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、テレワークの推奨など生活様式の

変化や、社会情勢を的確につかみ、町の財政負担を軽減しつつ、移住・定住を推進していく。

専門担当員設置

問 交付金・補助金の受給推進に向けた対応は各部署でどのように行われているのか。また、専門担当員の設置の考えは。

答 総務部長 申請における事業内容の専門性を考え、各事業課において申請の可否を判断している。専門担当員の設置は情報収集を強化していく上で効果的な方法の一つであり、育成については今後の課題として検討していく。

である。防災・減災に係るソフト対策の推進は重要で、国の動向について情報収集に努め、交付金の配分に支障がないように努める。

ふるさと納税、町外への流出額

問 本町のふるさと納税の受け入れ額と流出額は。

答 総務部長 令和3年の受け入れ額は約465万円、町外への流出額は約6890万円と税の収支で考えると大きくマイナスである。

問 町外納税は、町の事業の減退や、居住地の公共サービスの質の低下につながるこの周知も必要と考えるが。

答 総務部長 町民の方が他市町に対して行った税の控除額をお知らせすることで、ふるさと納税によって動く税の現状を認識してもらい、町内事業者による返礼品の登録促進につなげていく。



(交付金による交通安全対策事業)

答 総務部長 措置の導入については承知しているが、詳細が示されていないため現時点では不明

空き家調査後解消した実績は



桑政クラブ
千田勝文 議員

答 空き家解消は4件

問 所有者不明土地の空き家調査による把握状況は。

答 総務部長 町で把握している空き家について255件あり、そのうち所有者が確認できない物件は現在3件ある。

問 空き家が解消となった実績があるのか。

答 総務部長 所有者による解消が2件、除去費補助金を活用しての解消が1件、空家バンクへの登録で、売却できた物件が1件あり、合計で4件となっている。

所有者不明土地の問題点

問 公共嘱託登記及び過年度登記の処理状況は。

答 産業建設部長 公共事業が不動産登記に関わるものがあるとき、その権利の保全のために登記申請することを公共嘱託登記と呼び、その物件の調査、測量には詳細な調査が必要なことから、愛知県公共嘱託登記土地家屋調査士協会へ委託し、

公共嘱託登記を進めている。登記取扱件数は、令和元年度で公共嘱託登記は24件、そのうち過年度登記は5件。令和2年度公共嘱託登記44件で、過年度登記は18件となっている。

各施設の運営管理

問 老人憩の家の利用状況は。

答 健康福祉部参事 老人憩の家は、高齢者の教養研鑽、健康増進及びレクリエーション等生きがい活動の場として、平成



(柏森辻田交差点付近)

22年度から特定非営利活動法人スペース21を指定管理者に指定し、広く住民の方に利用いただいている。

問 今後のあり方は。

答 健康福祉部参事 今後は、指定管理制度を止め、町の直接管理とする。施設の名称も「こいの家」と変更し、作品の発表の場として、あるいは、会議の場などの使用も考えている。

問 学習等共用施設の利用状況は。

答 教育次長 約200団体の登録があり、趣味、教養、健康増進等を目的とした活動、自治会や子ども会の会議などにご利用いただいている。利用者数は、平成元年度は約7万人、令和2年度は、約4万人と新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。

問 今後のあり方は。

答 教育次長 公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき旧耐震

基準の高雄学供、柏森学供、山名学供については、施設内の設備が稼働する限り使用し、その後、統合廃合をする。新耐震基準の他の5施設は、大規模改修を実施しながら長寿命化していく。

交通環境の整備

問 小学校周辺の安全確保のその後は。

答 総務部長 令和元年8月、地域・学校・PTAの連名で、効果的な交通規制を目的とした要望書が犬山警察署に提出され、町もこれにあわせて規制についての依頼文書を提出。しかし、改善が見られないため町で令和3年8月30日の朝7時30分から8時15分までの間に交通量調査を実施。調査の結果、131台の通過車両を確認した。区域内におけるカラー舗装等の対策を行うなど、より効果の高い方法を検討する。



桑政クラブ
兼松伸行 議員

古文書・文化財の保存は

答 目に触れる様に展示場所を検討する

古文書・文化財の保存と学芸員の活用

問 本町の古文書・文化財の現在の保存方法と今後は。

答 教育次長 本町における古文書として、町指定文化財「切支丹関係古文書」を中央公民館内の資料室に保存している。また、資料室に保存しているリストには、特に文化財として指定されるものではないが、江戸時代の丹羽郡の地図や、明治政府が土地所有者に交付した証券、明治40年の扶桑村役場の村費決算書類などがある。中央公民館ロビーには町指定文化財の「頭椎直刀（かぶつきちよくとう）」を展示しているほか、約30点の土器や壺などの出土品や、正覚寺の「十二神将像」のレプリカ、昭和初期からの生活道具などを展示している。なお、広く町民の方から提供していただいた、生活道具や農耕具などは、各小学校に保管し、児童の学習

用で展示し、授業に活用している。今後は、町の貴重な歴史資料なので文化財保護審議会委員の意見を聞き、展示保存場所など検討し、町民の皆さんの目に触れる機会を増やしていく。

問 本町職員の学芸員の人数や活用と古文書・文化財の学芸員の今後は。

答 教育次長 現在、本町の職員採用において、学芸員の募集職種はない。学芸員資格を有する一般職の職員は、平成23年度以降の採用者の中で2名在籍している。現時点では学芸員職としての採用予定はないが、事務分担の中で、文化業務について、その知識を活かせるように配慮していく。今後は、生涯学習課内に資格を有する職員が在籍しており重要なことと認識しているため、資格を有する職員の活用も考えながら、文化財の保護に努めていく。



かぶつきちよくとう
(中央公民館内 頭椎直刀)



日本共産党
荒木孝三 議員

県道斉藤羽黒線の安全対策は

【答】 安心して利用できるよう愛知県に要望する

問 木曾川において橋梁工事が岐阜県側から始まっている。愛知県も工事が開始されると思うが、齋藤地内の安全対策は。

答 産業建設部長 現在、愛知県と岐阜県により事業を進めている（仮称）新愛岐大橋建設による交通量の増加の懸念について、架橋後の交通混雑を緩和するため愛知県において、

県道小渕江南線の南山名交差点及び仲畑交差点において右折帯を設置するなど交差点改良工事について検討している。

県道斉藤羽黒線における齋藤地内の安全対策は、現状においては歩行者や自転車利用者には、一部

歩道があるが幅員が狭いため不便をかけている。道路利用者が安心して利用できるよう安全対策を愛知県に要望し住民の不安を払拭できるよう努めたい。

問 工事開始前に住民説明会の考えは。

答 産業建設部長 具体的な整備方針が示されたら、適切な時期に説明会の開催を県に要望していきたい。

問 県道斉藤羽黒線の交通量調査の内容と結果は。

答 産業建設部長 全国道路交通情勢調査によると昼間12時間交通量で小型車は6602台、大型車は582台、合計で7

184台。

補聴器購入助成

問 高齢者の生活を少しでも支援するためにも助成制度の考えは。

答 健康福祉部 補聴器は医療機器であり、家電製品の集音器と混同している方も多く、高額の

なため普及が進んでいない。加齢により軽度または中等度の聴力低下した高齢者向けに難聴になっても安定した生活が続けたいけるよう補聴器購入助成制度を創設する自治体も出てきている。愛知県内では一部の市町で導入されている。当町でもその必要性については理解するが、制度導入の可否を含め、その需要や、導入した場合の効果などについて、研究を進めていきたいと考える。

青木川改修事業

問 カルコス付近から前利神社付近までの河川改

修事業が進められようとしている。橋が現状より減少する問題も出てきた。なくなる橋で生活道路として利用した住民の声も無視できないと思う。町として今後の対策と住民説明会の考えは。

答 産業建設部長 事業主体である愛知県として工事期間の短縮や費用面などから4橋に集約しながら、整備していく方針である。利便性については、河川の両側に5メートルの道路を整備し、集約された橋まで迂回、利用していただくこととなる。橋の増設については、令和4年1月に愛知県に地元より橋梁増設要望書が出ている。今後も要望を伝えていきたい。説明会については令和5年度から用地買収を行う予定で取得状況にもよるが工事発注できる状況になり次第、工事説明会をする予定と県から聞いている。



(県道斉藤羽黒線)



日本共産党
高木義道 議員

令和5年開館の児童館はどんな施設

答 年齢・目的に応じた場の提供を行う



(今年度完成予定の児童館建設現場)

問 児童館の概要は。
答 健康福祉部参事 (仮称)多機能児童館は、0歳から18歳までの児童が安全・安心な居場所として利用できる施設である。こどもプラザ、プレイルーム、図書・工作室、学習室、多機能室を設け、年齢や目的に応じた場の提供を行う。また、子育て支援センターを併設し、乳幼児の子育てに関する情報交換の場として親子で利用できる。開館時間は9時30分から18時、水曜日・第3木曜日・年末年始を除き開館日とする方向で調整中である。

児童館の運営

問 児童館の運営形態は。
答 健康福祉部参事 施設管理を扶桑町、運営管理をNPO法人への委託とし、お互いに連携を図りながら行政主導で経営の安定化を目指す。将来的に施設管理を含めた指定管理者制度への移行も視野に運営を行う。児童館の運営はNPO法人「マチよこ」への委託を考えている。職員配置は児童館3名、子育て支援センター12名を想定。長期休暇などは職員配置を増やす。

令和4年の学校教育

問 少人数学級の拡大はどうか。
答 教育長 文部科学省は、令和4年度に小学校3年生を35人学級とし、昨年度に続き、年ごとに少人数学級を拡大していく計画を立てている。それを受け、愛知県は独自の施策として、小学校4年生の35人学級を実施す

る予定である。これにより扶桑町で35人学級の恩恵を受けるのは柏森小学校の4年生である。

学校給食費

問 給食費補助の拡大は。
答 教育次長 給食費の補助は、令和3年度より町立の小中学校に在籍する児童生徒を3人以上養育している世帯の保護者に対し、児童生徒第3子以降の学校給食費無償化事業を実施している。また、経済的な理由から学校給食費の支払いが困難な場合には、就学援助制度により援助して、保護者の経済的負担軽減を行っている。実施町村の事例と町財政状況から、児童生徒第3子以降を無償化とすることが適切であると判断し、令和4年度も引き続き同様の援助を実施していく。

8期高齢者保健福祉総合計画で、準備基金を49億83万4千円を取り崩し、令和5年度までの3年間に保険料の軽減分として1億9千万円を予定しており、減額のための改正の予定はない。今後、準備基金に積み立てられる額については、第9期計画において保険料抑制のために使う。

国民健康保険

問 高い保険料の軽減は。
答 健康福祉部長 国民健康保険が広域化され、一般会計からの保険料軽減に充てる繰り入れは、国から解消を求められている。国保が県と町の共同運営となり、国民皆保険の国保制度を維持するために、低所得者の保険料軽減については、国庫支出金や県支出金による保険基盤安定負担金がある。繰入金での軽減取組

みは厳しい状況である。

介護保険

問 保険料などの軽減は。
答 健康福祉部参事 第

令和3年度 議会改革特別委員会の主な活動

☆議会運営部会

- ・陳情等取り扱い要領などの制定
- ・議会傍聴規則の一部改正
- ・議会会議規則の一部改正
- ・議会先例集の一部改正
- ・議会運営に関する見直し協議 他

☆広報広聴部会

- ・情報通信機器の使用規程作成
- ・議会中の試験映像配信開始
- ・タブレット取り扱い勉強会開催
- ・町民との意見交換会開催(4団体)
- 予定含 他

☆その他活動

地域公共交通デマンド型バスの
運行視察 (豊明市へ議員全員)



☆町制70周年記念事業企画推進会議

町民参加型チャレンジ議会の開催計画中

目的 町民が議会で発言する機会を確保し
町政参画への意識啓発を図り、身近で
開かれた議会の実現に努めることを
目的とし議会が主催で行います。
詳細は下記チラシ

扶桑町制70周年記念事業
**次世代につなぐ
若者のフリースピーチ**
～明日への思い～
開催日：令和4年8月21日(日)
午前10時開会
場所：扶桑町役場 議場

あなたの思いを
議場で語りませんか？
あなたのアイデアで
扶桑町が変わるかも！

詳細については、
ホームページをご参照ください。
主催：扶桑町議会
問合せ：議会事務局
0587-93-1111 (代表)

表紙写真について

季節の花が咲き、木曾川のせせらぎと野鳥の声を聞きながら、ウォーキングやサイクリングを楽しめる木曾川扶桑緑地公園の遊歩道。

「会議録検索システム」インターネット配信

扶桑町役場ホームページで議会会議録をインターネット配信していますので、ご利用ください。

扶桑町役場
ホームページ
↓
扶桑町議会
↓
扶桑町議会会議録
検索システム



3月定例会分は、6月2日に更新を予定しています。

お知らせ

6月定例会の日程(予定)

6月 2日(木)	開会・提案説明
6月 8日(水)	一般質問
6月 9日(木)	一般質問
6月10日(金)	議案質疑
6月13日(月)	福祉文教常任委員会
6月14日(火)	総務建設常任委員会
6月21日(火)	委員長報告・討論・採決・閉会

場所：扶桑町役場2F議場

時間：午前9時30分から

(日程は変更になることがあります)